



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
[URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2024年6月5日

報道関係各位

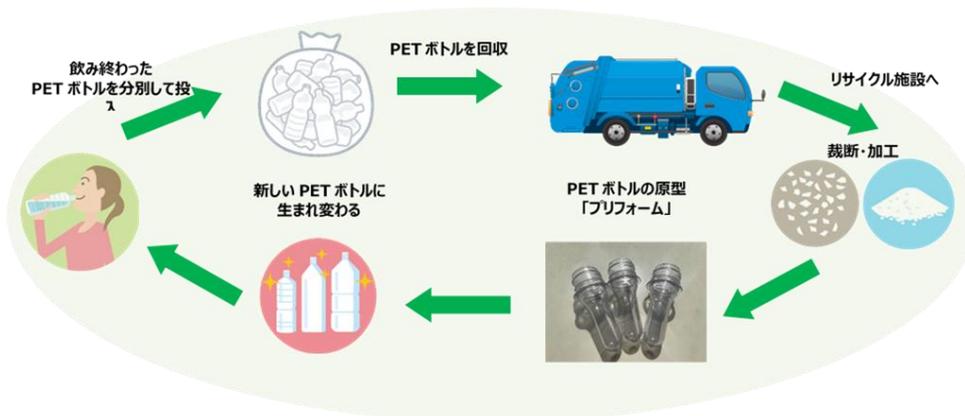
第66回北大祭にて「ペットボトル資源循環リサイクル」を実施 ～「ボトル to ボトル」による PET ボトルの循環利用を推進します～

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 代表取締役社長：酒寄 正太）は、北海道大学大学祭全学実行委員会（委員長：大岡 寛治）と第66回北大祭にて排出されるPETボトルの資源循環型リサイクルを実施することにより、廃棄物の減量及び資源の有効利用を推進します。北大祭は例年10万人が訪れる日本最大規模の大学祭で、多くの来場者に循環リサイクルの周知の機会といたします。

【ボトルtoボトル実施期間】

日時：2024年6月7日（金）～6月9日（日）※第66回北大祭開催期間
場所：北海道大学札幌キャンパス ※回収ボックスは場内に掲示

■「ボトルtoボトル」水平リサイクルの流れ



本事業は、使用済み PET ボトルを新たな PET ボトルに再生する、水平リサイクル※2「ボトル to ボトル」を実施するもので、第66回北大祭で回収した使用済み PET ボトルを、粉砕・洗浄などの各工程を経て、再原料化いたします。本事業にて再生された PET 原料は、当社が製造・販売するコカ・コーラ社製品の容器に使用いたします。

当社はコカ・コーラシステムが目指す「容器の2030年ビジョン」において、パートナーとの協働による着実な容器回収・リサイクルスキームの構築などに取り組んでいます。このたび当社と北海道大学大学祭全学実行委員会は、来場者・事業者・主催者の三者が一体となり、北海道内における PET ボトルの循環利用への貢献を目指します。

※1 石油由来の PET ボトルから 100%リサイクル PET 素材に切り替えた場合

※2 使用済み PET ボトルを回収・リサイクル処理したうえで PET ボトルとして再生し、飲料の容器として用いること

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、どさんこ企業として、北海道の魅力さをさらに高める活動、地域課題解決への協力、次世代を担う子どもたちに将来の地球の姿を考える場の提供、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みなど、事業活動を通して継続的に推進してまいります。



<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社広報・サステナビリティ推進部

担当：佐々木 TEL 011-888-2091

《当社オリジナル啓発ロゴ》

【参考資料】

■ コカ・コーラシステムの取り組み

日本のコカ・コーラシステムは、グローバルビジョン「World Without Waste（廃棄物ゼロ社会）」のもと「設計」「回収」「パートナー」の3つの柱からなる活動に取り組み、容器由来の廃棄物削減と、日本国内のプラスチック資源の循環利用を推進しています。

PETボトルについては、2018年に発表した「容器の2030年ビジョン」に基づき、2025年までにすべてのPETボトル製品へのリサイクルPET樹脂などのサステナブル素材の使用、2030年までに販売した自社製品と同等量のPETボトルの回収、パートナーとの協働による着実な容器回収・リサイクルスキームの構築などに取り組んでいます。2021年5月には「コカ・コーラ」などの旗艦製品へ100%リサイクルPETボトルを導入。現在は4ブランド44製品に100%リサイクルPETボトルを使用しており、日本国内におけるPETボトルの「ボトルtoボトル」比率は2022年第一四半期時点で50%を超えました。また、2020年より販売しているラベルレス製品も10ブランド22製品へと拡充、容器1本あたりのPET素材使用量の削減（軽量化）にも継続的に取り組んでいます。

コカ・コーラシステムは引き続き、「ボトルtoボトル」水平リサイクルの推進による100%リサイクルPETボトルのラインナップ拡大と、容器由来の廃棄物削減を通じ、プラスチック循環型社会の実現に貢献します。

※ 「ボトルtoボトル」によるリサイクルPET素材、または植物由来PET素材

参考URL

(<https://www.cocacola.co.jp/content/dam/journey/jp/ja/sustainability/resources/2022/resources-2030vision.pdf>)



コカ・コーラという「ほ・す」は100%リサイクルペットを使用しています。 

■ 当社の水平リサイクル推進の取り組み

・「環境広場ほっかいどう2023」や「第42回全国豊かな海づくり大会」などへのブース出展による啓発活動

2023年4月に札幌ドームにて開催された「環境広場ほっかいどう2023」のほか、同年9月に天皇陛下や国会議員などが参加した「第42回全国豊かな海づくり大会」では、水平リサイクルに関するブースを出展し、ボトルtoボトルを推進することの重要性を訴求しました。



・「第32回YOSAKOIソーラン祭り」大通会場で回収したPETボトルを100%リサイクルへ

持続可能な地域の祭りの実現を目指すYOSAKOIソーラン祭り初の試みとして、2023年6月7日～6月11日の開催期間中、大通7丁目会場南側にPRブースを設置し、来場者の皆さまに身近なPETボトルの「分別」に対する意識向上を図りながら、会場内*で回収した全ての使用済みPETボトルを、コカ・コーラ社製品の飲料用PETボトルとしてリサイクルする取り組みを展開しました。

※給水スペース、大通公園西5・6丁目「北のふ〜どパーク」内



第32回 YOSAKOI ソーラン 大通7丁目会場 PRブースの様子